

かつらぎやま じょうやま かのがわ

# 自然景観エリア(葛城山、城山、狩野川)

## 豊かな自然を楽しむ 伊豆の国のジオパーク ～ 眺望・体感 スポーツ・アウトドアアクティビティ ～



葛城山山頂からの眺望と山頂のボード  
ウォーク沿い桜・紅葉のトンネル



城山とスポーツアクティビティ



狩野川とスポーツアクティビティ



所在地	伊豆の国市小坂地内、神島地内ほか
面積	伊豆の国市全域 94.62km <sup>2</sup> のうち約19.4km <sup>2</sup>
主な施設等	葛城山、城山、狩野川、伊豆の国パノラマパーク、道の駅伊豆のへそ、MERIDA X BASE、小坂みかん共同農園
アクセス	<p>【鉄道】 新幹線（東京駅～三島駅）約60分、伊豆箱根鉄道駿豆線（三島駅～田京駅）約27分 （三島駅～大仁駅）約30分</p> <p>伊豆の国パノラマパーク：伊豆長岡駅からバス約8分、下車後徒歩約1分 道の駅伊豆のへそ、MERIDA X BASE：田京駅から徒歩約10分 小坂みかん共同農園：田京駅から徒歩約15分</p> <p>【自動車】 東名高速道路（東京～沼津IC・長泉沼津IC）約90分、沼津ICから東駿河湾環状道路で約25分</p>

## 地形

葛城山の山頂からは、富士山と日本一深い湾である駿河湾の両方を見ることができ、狩野川の流れや田方平野を一望できる。城山からは、大仁温泉や周辺の大きく蛇行する狩野川の流れを見ることができ、これら2つの山頂から見える眺望は、伊豆半島の成り立ちや田方平野の形成を視覚的に捉えることができる。葛城山、城山をはじめとする低山の連なりと平野部を流れる狩野川は、この地域独特の景観を形成し、平地の農業生産や山・川・海でとれる食材は、このエリアにおける人の営みを形作ってきた。

## 歴史

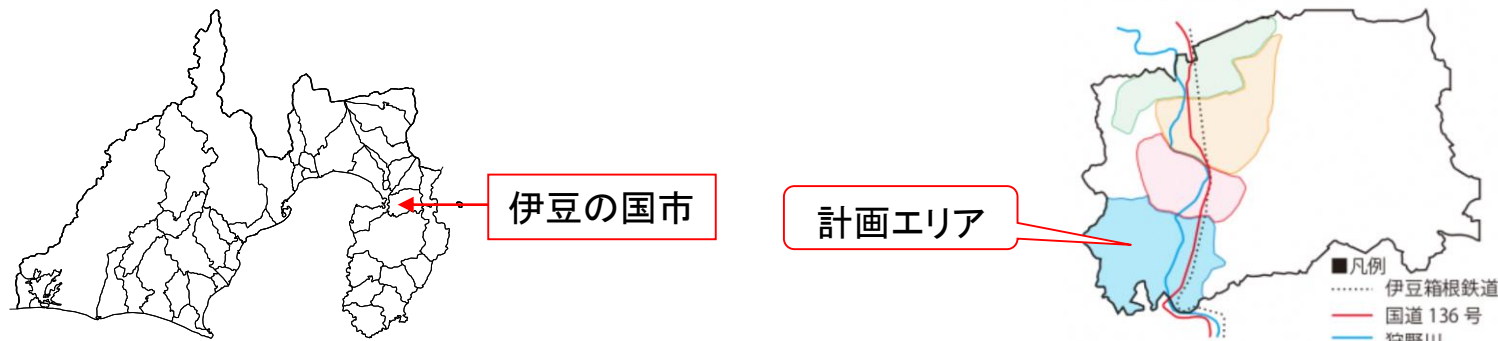
葛城山や城山は、古くから地域の人々にとって山岳信仰の対象として存在し、山道は、食料や物資等の輸送だけでなく、参拝ルートとしても重要な役割を果たした。また、城山の山頂に続く登山道は、元読売巨人軍の長嶋茂雄氏が現役時代にトレーニングで使用した道として知られている。

狩野川は、その支流も含めて田方平野の水田への灌漑に使われるなど、地域に恵みをもたらしてきた一方、古くから暴れ川として知られ、流域に大きな被害をもたらしてきた。昭和33年の狩野川台風被害により、既に着工されていた狩野川放水路の建設が大きく進み、昭和40年の狩野川放水路完成以後、狩野川の氾濫による人的被害は発生していない。市内神島地区に伝わるお盆の奇祭「狩野川かわかんじょう」は、狩野川で水難に遭った人々の慰霊の意味を兼ねた伝統行事として行われ、狩野川が地域の人々の営みに深く溶け込んでいることがわかる。

## 観光

葛城山のロープウェーを有する伊豆の国パノラマパークでは、年間約36万人もの来訪客が葛城山山頂からの眺望景観を楽しんでいる。また、葛城山の急峻な傾斜地を利用して地域で共同運営している小坂みかん共同農園には、年間約3万人が訪れる。城山の南側の垂直な岩壁は、一年中楽しめるロッククライミングのポイントとしても知られている。平成30年11月にリニューアルした道の駅伊豆のへそには、リニューアルオープン後1年を経過せずとも100万人もの来訪客があり、隣接するMERIDA X BASEは、自転車ブランドMERIDAの世界最大級の自転車展示施設として展開している。今後、狩野川の水辺を活用した「かわまちづくり」や、サイクリング、ウォーキング、ラペリング、SUP等さまざまなアクティビティを体験できる観光フィールドとして、自然資源を活用した新たな魅力づくりを期待できる。

## 2. 対象エリアの位置図



(出典：地理院地図)

## 2. エリア図



- 凡例
- ■ ■ エリア範囲
  - ||||| 狩野川沿いの景観軸
  - - - 富士箱根伊豆国立公園 (伊豆半島地域) 特別地域
  - 遊歩道・ハイキングコース
  - 交通(周遊)・交流の景観拠点
  - 大地がつくり出した景観拠点
  - ⬇ 眺望の景観拠点
  - 目標となる建物等
  - ..... 行政界(隣の市町との境界)

(出典: 地理院地図)

## 大地の動きが生み出した伊豆半島ジオパーク

### (1) 葛城山



葛城山山頂からの眺望



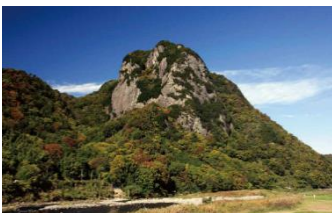
板状節理

#### 伊豆半島の成り立ちを感じられる山

伊豆半島ユネスコ世界ジオパークのジオサイトであり、かつて伊豆半島が海底火山だった時代の痕跡を示す象徴的な山である。標高452mの山頂には、ロープウェイや葛城山ハイキングコースを通して登ることができ、城山や発端丈山にもつながっている。

山頂からの駿河湾、富士山、伊豆長岡温泉、田方平野を一望できる眺望景観をゆったりと楽しめるように、民間事業者による整備が進められている。

### (2) 城山



岩壁の露出



城山の岩壁

#### 露出した岩壁を特徴とする地域のシンボリックな山

伊豆半島ユネスコ世界ジオパークのジオサイトであり、麓を流れる狩野川と荒々しい山肌のコントラストが特徴的な標高342mの山である。その姿から、古くは街道の道しるべとしても知られ、現在でも、地域のシンボリック存在として多くの人に愛されている。静岡県自然百選にも選ばれており、ハイキング客のほか、岩壁でロッククライミングやラペリングを楽しむ人も多い。山頂からは、大仁温泉や狩野川の流れることができる。

### (3) 狩野川



狩野川でのアクティビティ



狩野川沿いのサイクリング

#### 伊豆半島の成り立ちを示し、地域の歴史を育んできた川

伊豆半島の中心的な河川の一つである狩野川は、天城山に端を発し北流する一級河川で、鮎の友釣り発祥の川としても知られている。太平洋側の河川のうち、北に向かって流れる唯一の河川であり、富士山を見ながら川下りができる。

狩野川沿いからは、空間的広がりにより移動しながら楽しむことができる。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・ハイキングコース周辺の樹木等の維持管理、誘導案内サイン・道標等が老朽化している。
- ・葛城山では、休耕農地の増加により樹木が繁茂し、景観を阻害している。
- ・眺望点（視点場）の整備が必要である。
- ・狩野川の水辺空間を見る、ふれることができる場所が少ない。
- ・今後のハイキングコース等の利用者数の増加に対応できる関連施設等の整備が必要である。

## (1) 地域住民等の視点 <sup>\*1</sup>

- 葛城山山頂は、日本一深い駿河湾と日本一高い富士山の両方を一望できる大パノラマが魅力。伊豆長岡温泉や田方平野を見渡すこともできる。この眺望景観は、ここでしか体験できないもの。伊豆の国市の財産として守りつつ、活かしてほしい。
- 葛城山、城山には、伊豆半島ジオパークのジオサイトとしての見どころもたくさんあるが、あまり知られていない。山に登るだけでなく、ジオサイトとしての価値も視覚的に見るとよい。
- 首都圏から1～2時間で来ることができ、また、積雪しないため、冬期に楽しめる山は、スポーツ・アウトドア愛好家等には大きな魅力である。山と川を使ったアクティビティを一年中楽しめるフィールドとしてPRしたい。
- アクティビティのエリアが、市街地や伊豆長岡温泉、大仁温泉から近いことは、利用者の移動の負担を軽減するとともに、温泉地との宿泊連携ができれば、市内や伊豆半島における着地型体験旅行につながられる可能性がある。
- 自然景観やジオパークを楽しみながら、葛城山、城山、狩野川を活用した複合的なスポーツ・アウトドアアクティビティが展開できれば、観光誘客につながる魅力的なエリアになる。

\*1 地域の住民、事業者、関連団体等が参画する地域景観ミーティングを3回実施し、出された意見等の集約

## (2) 有識者の視点

- 眺望を形成する大地のストーリーを整理し、特徴ある自然景観を最大限に活用して観光につなげていくことができる。
- 首都圏からのアクセスの良さは地の利であり、ジオサイトとしての価値やスポーツ・アウトドアアクティビティのフィールドとしてのポテンシャルもある。自然資源を活用した伊豆の国市の新たな魅力創出につながる可能性が高い。
- 自然の中でのスポーツ・アウトドアアクティビティは、外国人が大変好み、近年、日本人にも人気がある。伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの取組と連携し、効果的なPRができれば、国内外からの誘客につながる。
- 地域や民間事業者と連携し、活用と保全を一体的に考えていく必要がある。整備と環境保全の両方を進めていくべき。環境調査を実施し、行政、地域、民間が協力しながら、活用と保全に向けて継続的な取組みを推進していく組織が必要である。
- 活用については、伊豆全体で取り組んでいるサイクリング等の広域的取組みも視野に入れ、自転車で葛城山を走るという発想も魅力的。狩野川沿いを走行するだけでなく、山からの眺望を楽しめる新たな自転車の楽しみ方として、スポーツ性も含めて、伊豆の国市ならではの魅力ができる。

### 目標1

大地が作り出した  
自然景観を適切に保全



#### 景観づくり方針

- ① ジオサイト葛城山、城山、狩野川の保全に向けた取組み
- ② 地域、民間等が保全・環境整備に参画する仕組みづくり

### 目標2

スポーツ・アウトドア  
アクティビティによる  
新たな魅力づくり



#### 景観づくり方針

- ① ジオサイトや景観も楽しめる散策ルート等の整備
- ② 自然資源の活用に向けた地域、民間等の連携

### 目標3

美しいパノラマビューを  
活かす環境づくり



#### 景観づくり方針

- ① 眺望景観を楽しめる視点場の形成
- ② 視点場からの眺望景観づくり

対象エリア全体につながる景観づくりの取組み

## 目標1 大地がつくり出した自然景観を適切に保全

### 方針1-① ジオサイト葛城山、城山、狩野川の保全に向けた取り組み

	取り組み	実施主体
短期	①地形・地質、植生等に関する調査 ②ハイキングコース等の利用者数の把握 ③ジオサイト葛城山、城山等の保全に向けたルールづくり 【植栽、樹木の修景伐採】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	④利用者数増加に対応できる駐車場、トイレ等の整備 ⑤狩野川の眺望の景観阻害要因等の改善・除去	●市、地域、事業者、関係団体等

### 方針1-② 地域、民間事業者等が保全・環境整備に参画する仕組みづくり

	取り組み	実施主体
短期	⑥葛城山、城山のハイキングコースや周辺の自然環境、景観を保全するための定期的な清掃、除草等 【植栽、樹木の修景伐採】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑦地域の文化・伝統行事の保存（例 狩野川かわかんじょう、葦山狩野川まつり灯ろう流し等） ⑧ジオパークの理念に基づく環境保全活動の推進	●市、地域、事業者、関係団体等



## 目標2 スポーツ・アウトドアアクティビティによる新たな魅力づくり

### 方針2-① ジオサイトや景観も楽しめる散策ルート等の整備

	取組み	実施主体
短期	⑨ジオサイトや景観も楽しめるハイキングルート等の整備 ⑩景観に配慮した統一的な道標、誘導案内サイン等の整備 【公共サインや観光案内板の色彩、形状、配置】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑪ジオサイトや景観も楽しめる自転車用ルートの整備 ⑫山頂に至る緊急路等の整備	●市、地域、事業者、関係団体等

### 方針2-② 自然資源の活用に向けた地域、民間等の連携

	取組み	実施主体
短期	⑬葛城山や城山、狩野川周辺で実施されている既存事業との連携 ⑭スポーツ・アウトドア事業者等との連携によるアクティビティ等の開発	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑮伊豆の国市かわまちづくり構想との連携	●市、地域、事業者、関係団体等

## 目標3 美しいパノラマビューを活かす環境づくり

### 方針3-① 眺望景観を楽しめる視点場の形成

	取組み	実施主体
短期	⑯眺望点からの景観の特徴やストーリーの整理 ⑰伊豆半島景観協議会が進める眺望景観の認定制度との連携 【眺望点（視点場）の配置】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑱眺望点及び周辺環境整備（例 眺望を阻害する樹木等の修景伐採、眺望についての解説版 等）	●市、地域、事業者、関係団体等

### 方針3-② 視点場からの眺望景観づくり

	取組み	実施主体
短期	⑲景観条例、屋外広告物条例や各計画に基づく広告物事業の推進 【建物や工作物等の配置、形状】	●市、地域、事業者、関係団体等
中・長期	⑳眺望景観の阻害要因等の改善・除去（例 大きな看板や目立つ色の看板等）	●市、地域、事業者、関係団体等

7. 景観施策(案)のイメージ図

